

去勢不妊手術を受けさせない飼い主さんをご通報ください。アニマルポリス啓発隊が飼い主さん宅へ啓発に伺います。それでも理解しない方へは署名簿を送付します。



【繁殖と虐待の因果関係】

虐待目的で猫を入手した男がいます。男は女性を使い「一生、大切に大切に飼います」と嘘をつかせて、産ませた飼い主のところへ もらいに行かせていたのです。虐待と繁殖は密接な関係にあります。

【多頭飼育できる人でも絶対に産ませないでください】

飼育できるなら、保健所から引き取るとか被災動物を引き取れば、多くの命が救われます。今日、経済力がある人でも、明日には一匹も飼えなくなるかも知れません。危機管理能力のない人は動物を不幸にします。不妊手術をしておけば、災難にあっても被害を最小限に食い止められます。

メスだけでは妊娠しません、オス飼い主にも責任の半分が。

近年は生後3～4ヶ月から手術できます。

定期的に動物福祉キャンペーンを行っております。

オス猫去勢4000円のみ、メス猫不妊5000円のみ（妊娠中も同料金）

犬についてもお問い合わせください

●県内の飼い主が、去勢不妊を受けさせず、愛護団体から訴えられるという残念な事件がありました。訴えられた方は周りの視線に耐えられなくなり、県外へ引っ越しました。同じ福島県民としてこのようなことは防ぎたいものです。●翌月、のら猫にエサを与えるだけで不妊手術を受けさせない人、去勢不妊の必要性を理解した途端にエサあげをやめた人が、訴えられました。

●福島県動物行政担当 平野井氏の部下が若くして退職したのは、平野井氏の偽装動物福祉行政をまじかで見ている良心が痛み、病んだからだという情報が匿名で当方へ入りました。平野井氏は行政処分方法が苦痛死なのに安楽死だと、嘘の広報を永年続けました。他にもいろいろあります。詳しくは当方のサイトをご覧ください（更新中）今後、福島県保健福祉部部長、同課長らが監督責任を問われることになるでしょう。部課長が信用を回復するには、平野井氏を移動させるのが得策でしょう。

ボランティア アニマルポリス
〒960-8066 福島市矢剣町11-3 星野
024-563-7650 (tel fax)